令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		基幹施設整備事業			コード	03110100-0302	
中事業名		スマートインターチェンジ整備事業			計画区分	①②③	
担当部等		産業政策部		担当課等	基幹施設整備課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	02	スマートインターチェンジ整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等		日進市人口ビジョン・総合戦略　等					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	東名高速道路へのアクセス性向上による産業振興・物流効率化や、一般道の渋滞緩和、観光施設及び防災拠点へのアクセス性向上などの効果が期待される、（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備を推進する。
対象	スマートインターチェンジ、周辺道路等
意図（目的）	スマートインターチェンジ及び周辺道路を整備することにより、東名高速道路へのアクセス性向上による市民の利便性の向上、周辺企業活動の活性化、観光地の振興促進、大規模災害への対応強化を図る。
手段	スマートインターチェンジ及び周辺道路の整備に向けた関係機関との調整及び設計、用地取得、工事

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			162,689	61,571	112,351	74,744	29,262	8,318	119,729
財源内訳	特定財源	国庫支出金	11,690	0	14,175	0	360	129	11,123
		県支出金	0	0	0	0	0	0	3,587
		地方債	0	0	0	0	0	0	71,000
		その他	37,694	36,769	31,972	30,014	0	4,810	2,053
	一般財源		113,305	24,802	66,204	44,730	28,902	3,379	31,966
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		1.93 人		2.93 人	0.00 人
		人件費		0.00		12,593.00		19,118.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				61,571		87,337		27,436	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	用地取得について、地権者と調整を図りながら用地を購入するとともに、整備に向け、スマートインターチェンジ及び周辺市道の施工計画等について検討する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	引き続き用地の取得について進める。また、事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。

令和 5年度に取り組んだこと	地域調整を計画的に進め、施工計画の合意に向け検討を実施した。また、用地に関する調査を行い、条件が整った箇所から順次用地取得のための交渉を行った。

成果	施工計画の合意に向け、地域と調整を重ねながら検討を進めることができた。また、事業用地の取得については、地権者と交渉を進め、下り線の用地を一部取得することができた。なお、関係機関等との調整では、事業の経過と現状について協議を実施することができた。
課題	用地買収及び工事に向け、周辺住民や地権者に対し引き続き丁寧な説明を行い、理解を得ながら着実な事業の進捗を図る必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	施工計画については、引き続き調整が必要であり、理解が得られるよう地域と調整を行いながら検討を行う必要がある。なお、地権者と交渉を進め、用地取得を進めることで事業の進捗を図る必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		地権者と調整を図り用地取得を進めるとともに、整備に向け、スマートインターチェンジ及び周辺市道の施工計画等について検討する。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		引き続き用地の取得を進める。また、事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	関係機関との会議等の開催回数					単位	回
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4.00	3.00	3.00	3.00	1.00	1.00	0.00

【アウトカム指標】

指標名	スマートインターチェンジ整備率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	29.00	29.00	37.00	33.00	40.00	37.00	40.00
式	計画・設計等進捗率（３０%）+用地取得率（３０%）+工事進捗率（４０%）						
指標の狙い	（仮称）東郷スマートインターチェンジ全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		基幹施設整備事業				コード	03130100-0303
中事業名		道の駅整備事業				計画区分	①②③
担当部等		産業政策部		担当課等		基幹施設整備課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	13	住宅・市街地形成		款	08	土木費
	主要施策	01	計画的な市街地整備とまちの拠点形成		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	03	道の駅整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等		日進市人口ビジョン・総合戦略、日進市道の駅基本構想、日進市道の駅基本計画					

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	地域活性化の拠点施設として、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展と活力につながっていく「道の駅」の整備を推進する。
対象	道の駅、周辺道路等
意図（目的）	道路利用者のための環境整備に加え、子育て支援、防災・減災、農業振興といった地域課題の解決を図り、また、市民交流や情報発信の場として活用することで、地域内の経済活性、シティセールスにもつなげていく。
手段	道の駅基本計画、各種設計に基づく用地取得、施設・周辺道路等整備、管理運営事業計画の検討・構築　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			28,507	26,880	726,413	466,702	342,310	180,418	1,990,222
財源内訳	特定財源	国庫支出金	9,028	11,393	19,269	9,883	16,830	15,839	711,751
		県支出金	0	0	53,542	0	53,542	1,276	107,850
		地方債	0	0	423,000	328,000	167,000	97,000	855,000
		その他	0	0	0	0	0	0	11,911
	一般財源		19,479	15,487	230,602	128,819	104,938	66,303	303,710
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		3.89 人		3.89 人	0.00 人
		人件費		0.00		25,382.00		25,382.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				26,880		492,084		205,800	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	購入できていない用地について、土地所有者の意向を踏まえながら早急に用地を購入する。また、指定管理者の募集について、最適な選定を行うためには、東海地方における道の駅で実績がある事業者だけではなく、全国から幅広く募集する必要があることから、広報や市ＨＰ以外の周知方法を検討し、実施する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	事業の推進に理解を深めていただくため、地元本郷区、地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を継続的に行う。また、道の駅の管理及び運営を行う指定管理者が決まり次第、開駅に向けた協議、調整等を行っていく。

令和 5年度に取り組んだこと	未購入の事業用地について交渉を進めたほか、令和５年度分の周辺道路等整備工事を完了した。管理運営面では、指定管理者審査委員会に諮り、候補者の選定を行った後、議会で指定の議決をいただき指定管理者を決定した。また、道の駅の名称やロゴマーク、子育て支援施設内の遊具及びおもちゃの購入順位を決定した。

成果	用地の取得については、全ての事業用地を購入することができた。また、周辺道路等整備工事は、関係機関との協議、調整を適切に行いながら、完了することができた。指定管理者は良好で効果的、効率的な管理運営が期待できる事業者に決定したほか、道の駅の名称、ロゴマーク等は計画どおり着実に進め、決定することができた。
課題	今後も引き続き地元本郷区との意見調整や、関係機関との協議を綿密に行いながら事業の進捗を図る必要がある。また、開駅に先立ち、道の駅において魅力的かつ柔軟なサービスの提供が図られるよう、指定管理者と協議を重ねていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	用地取得が完了しており、事業地内の土木工事にも着手しているほか、地域振興施設の建築工事も契約済みであること、地元本郷区、関係機関等との協議、調整等を行いながら事業を進めていることから、今後も開駅に向けて同様に事業を継続し、着実に道の駅を開駅する必要があるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		本市の道の駅が、にぎわいや活気を創出するものとなるよう、指定管理者と綿密な協議を行う必要があるため、指定管理者との定例会を毎週開催し、必要に応じて随時協議ができる体制を構築する。また、指定管理者が市内に常駐し、事業者及び各団体から意見を伺い、開駅に向けたイベントや出品物等の調整・企画を行うことができるようにする。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		開駅前だけではなく、開駅後の状況についても詳細に把握し、必要であれば課題の解決にもつなげることができるよう、地元本郷区や関係機関等と十分な協議、調整等を行う場を継続的に開催する。			

【アウトプット指標】

指標名	委員会等の開催回数					単位	回
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	1.00	2.00

【アウトカム指標】

指標名	道の駅整備率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	34.00	61.00	58.00	67.00	65.00	100.00
式	計画・設計等進捗率（３０％）+用地取得率（３０％）+工事進捗率（４０％）						
指標の狙い	道の駅全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。						